



## 登山客に帯同 Mt.FUKUCHI Trekking Style 福智山を体験レポート

標高901m、町が誇る名峰「福智山」に一般登山客と一緒に「上野越ルート」でアタック。改めてその魅力を発見すべく、普段は目につきにくい水辺や動植物にも着目しながら、頂上を目指しました。

**年** 間、約20万人が訪れ、登山の人気スポットとして定着している福智山。近年は「山ガール」と呼ばれる若い女性の登山者が増加し、さらに、健康志向や自然志向の人が増えていることで「登山」が注目を浴び、福智山を訪れる人が増加の

一途を辿っています。それに加え、今年にはNHK大河ドラマ「黒田官兵衛」が放映され、官兵衛の重臣・母里太兵衛とゆかりのある福智山の支峰「鷹取山」が注目的に。これまで以上にその魅力が広まろうとしています。現に町ホームページの登山ガイドのページは、今年2月1日の時点ですでに約1千件、昨年同時期の約1.5倍のアクセス数を記録しています。そこで今回、その魅力を皆さんに再認識してもらおうと、「一般の登山客と一緒に福智山へ。多くの人が愛してやまない、名峰の見どころを探りました。福智山は四方八方から通じる登山ルートがあり、自分に合ったコースが選択できることも魅力です。今回の登山は比較的緩やかで、初心者でも登りやすい「上野越ルート」を選択。鷹取山に登頂したのち、福智山を目指しました。この紙面で福智山の魅力を全てお見せすることは到底無理でしたが、その片鱗が少しでも垣間見えるようにお伝えします。

### 吉田 愛さん(直方市)

今日は福智山の雄大な自然を満喫するために来ました。マイナスイオンをたくさん浴びてストレス発散します！



**安井 章太郎さん(直方市)** 福智山は今日が初めてです。山頂付近は銀世界だと聞いていますので、雪道を楽しみながら登山します！



登山中は足元に注意を払いがちですが、周りにも気を配ると、魅力がたっぷり詰まった雄大な福智山を堪能！五感を澄ませば鳥のさえずりや植物の息吹を感じ、日常の慌たしさを忘れさせてくれます。

「上野越・福智山分岐点」に到着し、水分補給。水分を失うと疲れやすくなるので、しっかり補給します。ここから積雪していたので、雪道専用の道具を靴に装着します。



クマイザサ草原が広がる頂上付近は約50cmの積雪。踏み固められた登山道以外は膝下までスッポリ埋まります。足をとられながらの登山で疲れはピークに達しますが、山頂の悠々たる面持が、足を前に進めるためのパワーを与えてくれます！

起伏に富んだ登山道、刻々と変わる景色が素晴らしいです。県内でも有数の標高を誇るため、登頂した時の達成感が高揚しています！



雪道では想像以上に苦戦しましたが、この時期ならではの景色を満喫することができ、今日は大満足です！また違う時期に訪れたいと思います。

GOAL!

13:17

START!

10:00

福智町が発行した登山パンフレットは素晴らしいですね。これがあれば自分に最適なコースがわかり、山の魅力を余すことなく体感できます。



発行後すぐに在庫不足になった人気の「福智山パンフレット」を持参し、時間に余裕をもった登山計画を作成。

普段は目につきにくい、福智山の植生や水辺の生物を発見。



流木や岩が転がる登りが続くので足首をひねらないように、慎重に歩きます。この先はおつが林道合流地点、全体の約3分の1程度まで進みました。初心者は徐々に足取りが重くなってきます！

鷹取城の城主だった母里太兵衛が「富士山よりも高く美しい、日本一の名山」と生涯にわたって言い張った、鷹取山から臨む福智山の裾野。しばし時間を忘れ、当時の情景に思いを馳せました。



鷹取山の登頂に成功！こんな高所にお城があったなんて信じられません。ここから見える福智山の山頂は、麓からの景色とは別の良さがありますね。

約3時間で山頂に到着。流した汗の分だけ感動もひとしお、360度の大パノラマが疲れを吹き飛ばしてくれます。麓から見ても、登って見ても美しい福智山。まさに町の象徴です。

### 楽しく登山するための心得 登山グッズを紹介！



#### 登山靴

足場の悪い道でも歩きやすく、疲れにくい登山専門の靴。雪道では爪がある「アイゼン」を装着すると転倒防止に。



#### 雨具

晴れの日でも油断大敵。山の天気は変わりやすいので、レインウェアや小型の折りたたみ傘があると便利です。



#### 防寒具

標高が100m上がるごとに気温が0.6度低下。麓の気温が高いからといって軽装で登山するのはやめましょう。



#### 水分

水分は必須です。用意する水の量は状況により異なりますが、ハイキングや日帰り登山では500ml~1Lを目安に。

#### ストック

歩行のバランスを保ち、足腰への負担を軽減させます。特に斜面で活躍し、転倒を防止する有効な用品です。

### 山のマナーと心得

#### ① 登山靴の土を落とす

靴底に他地域の植物の種子が付着していると、知らず知らずのうちに外来植物を持ち込むこととなります。

#### ② トイレの確認

トイレは山中でしないのが原則。事前に済ませましょう。

#### ③ 登山道以外は踏み入れない

むやみに登山道以外の領域に足を踏み入れると、道に迷うリスクが増えるだけでなく、植物を痛めたり、土壌を壊すことになるので、注意しましょう。

#### ④ 植物は写真で持ち帰る

きれいな花やめずらしい植物を見つけたら、よく観察して写真に納めましょう。決して採取してはいけません。美しい自然環境を守るのも登山客のマナーです。

#### ⑤ 登山者同士声を交わそう

山では積極的にあいさつしましょう。他の登山客との楽しい会話が生まれ、行く先の情報交換にもつながります。

#### ⑥ 道を譲ろう

登山道は基本的に「登り優先」です。譲る側は安全を考慮して山側に立ち止まって待ちます。

※紹介した登山グッズは一例です。登山の際は、標高や時期、天候などを下調べし、万全の体制を整えましょう。